

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		し尿処理事業		担当課	環境衛生課	担当係	環境衛生係	管理番号	40152	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり		根拠法令 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	小項目	2	環境衛生の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、衛生センターに投入されたし尿、浄化槽汚泥及び農業集落排水処理施設の汚泥等を適正に処理するものである。この事業では、施設の運転に必要な光熱水費の支出や運転管理業務などの委託を行い、処理施設の適正な運転管理を実施する。								
目的 ※何のために		し尿、浄化槽汚泥及び農業集落排水処理施設の汚泥を適正に処理し、市民の快適な生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		市民の日常生活から発生するし尿、浄化槽汚泥及び農業集落排水施設利用者								
手段 ※どのように		平成28年4月1日に竣工した衛生センターの運転管理を民間委託し、光熱水費の支出や運転管理業務などの委託を行う。								
成果 ※何を求めるか		し尿処理施設の適正な運転管理								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	4	衛生費	2	清掃費	3	し尿処理費	し尿処理施設運転管理事業	133,878,195
		一般会計	4	衛生費	2	清掃費	3	し尿処理費	し尿処理対策事業	0
本事業の 主な業務		・ 運転管理業務							・	
		・ 各種業務委託の実施							・	
		・ 修繕（オーバーホール）の実施							・	
		・ 汚染負荷量賦課金の支払							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画			公募型プロポーザル入札実施				
事業費	予算（現額）	128,662,000	146,065,000	164,992,000	188,103,000		
	決算額	121,400,667	133,878,195	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	6,448,800	6,721,503	3,428,000	3,417,000	
		一般財源	114,951,867	127,156,692	161,564,000	184,686,000	
人件費	従事職員数（人）	0.73	0.79	0.79	0.79		
	人件費相当試算※	5,666,198	6,216,950	6,475,146	6,475,146		
総事業費試算		127,066,865	140,095,145	171,467,146	194,578,146		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	委託事務負担金額の支払い額	目標値	千円	0.00					
		実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		寄居町との取り決めによる。 / 負担金の額						
	実績値の算出式								
成果指標 1	委託事務負担金残額	目標値	千円	0.00					
		実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		令和2年度で負担金（起債償還負担金）が終了する。 / 寄居町提供資料						
	実績値の算出式								
活動指標 2	主要設備（前処理機2台＋脱水機2台の運転時間）	目標値	時間	5,368.00	5,368.00				
		実績値		5,877.55					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前処理機5h、脱水機6hを稼働時間として設定、実績値は年報より						
	実績値の算出式								
活動指標 3	施設稼働日数	目標値	日	365.00	366.00				
		実績値		365.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎日運転を目標						
	実績値の算出式								
活動指標 4	し尿、浄化槽汚泥等処理量	目標値	kl						
		実績値		36,545.14					
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	主要設備の目標運転時間に対し、実施運転時間は超過しているが汚水処理は問題なく実施されている。また大きなトラブルもなく年間を通じて施設を稼働することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	衛生センターに搬入されたし尿、浄化槽汚泥を適正に処理することができた。
			評価者 係長 木村 明人

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	衛生センターの管理委託を令和5年度から5年間の管理委託を締結することができたため、職員の事務負担軽減につなげることができた。
			評価者

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	令和4年度をもって5年間の管理業務委託が終了することから、令和4年度中に次期契約を締結し滞りなく業務がおこなえるように契約事務を進める。
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	し尿処理事業	担当課	環境衛生課	担当係	環境衛生係	管理番号	40152
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		令和4年度は浄化槽汚泥とし尿処理に大きな故障もなく、計画どおりの修繕と施設の適正な管理が行えた。 また令和5年度から5年間の包括管理業務委託の契約を締結することができた。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	課長 加藤 昇				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	施設の計画的な修繕を行い施設の長寿命化を図っていく必要がある。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	施設の計画的な修繕を行い施設の長寿命化を図っていく必要がある。

8. 評価指標グラフ

